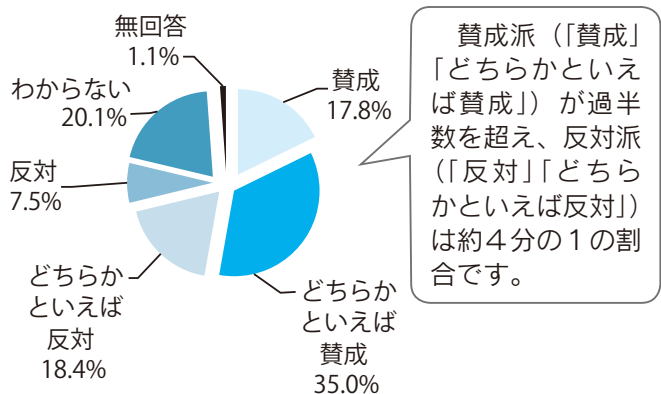
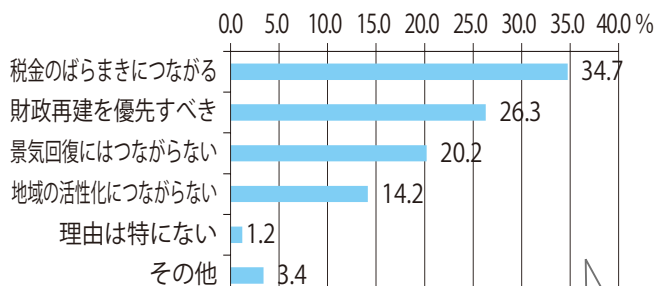


Q. 公共事業拡大方針についてどう思うか(1選択)



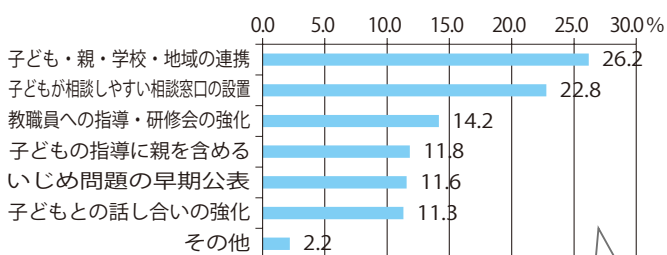
Q. 反対・どちらかといえば反対の理由(複数選択)



「反対」「どちらかといえば反対」の3分の1以上の人が「税金のばらまきにつながる」と考えています。

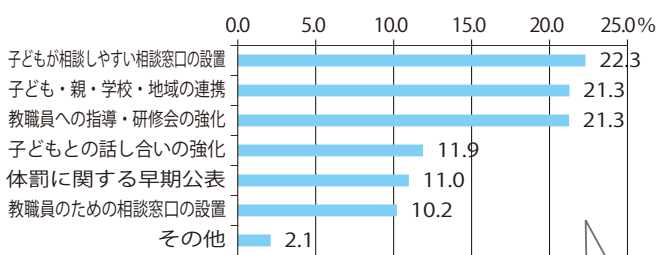
～教育～

Q. 学校でのいじめ問題への対応について何が必要か。(2選択)



「子ども・親・学校・地域の連携」、「子どもが相談しやすい相談窓口の設置」などが高く、いじめ問題には、社会全体で対応することが望ましいとの思いがうかがえます。

Q. 学校での体罰問題で必要な対策は何か。(2選択)

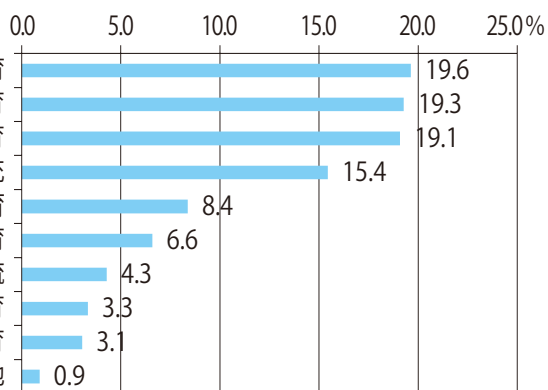


体罰問題には、「子どもが相談しやすい相談窓口の設置」とともに教職員へのサポート体制の強化や、地域を巻き込んだ環境整備の必要性を求めていることがうかがえます。

Q. 社会に出て役立つ学校教育に向け 充実すべきことは何か。(2選択)

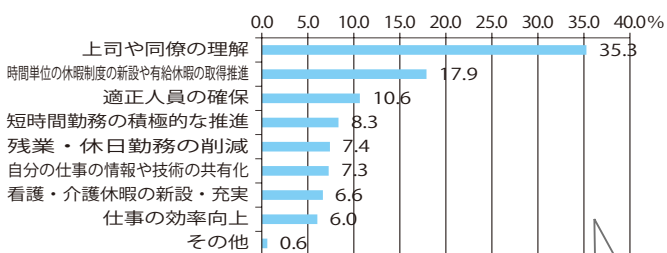
「働くことの意味や価値観」「国際化に対応した語学」「生命の大切さなど心」の教育の3つがほぼ同じ割合で高い値を示しています。 実践的な語学教育とともに、倫理観や道徳心など「心の教育」を学校に求めていることがうかがえます。 また、働くことの重要性も求められています。

働くことの意味や価値観の教育
国際化に対応した語学教育
生命の大切さなど心の教育
職業体験の教育の場の拡充
ボランティア活動を通じた教育
インターネットの正しい活用教育
保護者や地域と学校の交流
環境保全に関する教育
防災・減災に関する教育
その他



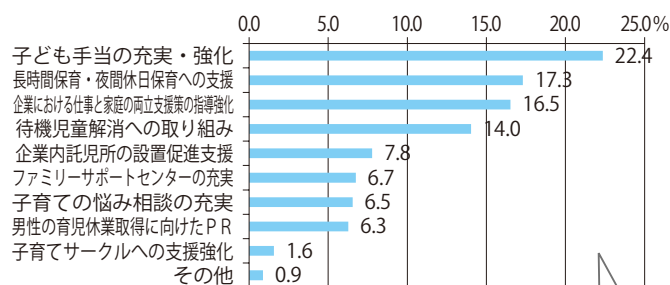
～子育て～

Q. 仕事と子育ての両立について職場で必要なこと(2選択)



「上司や同僚の理解」が他の項目を大きく引き離して高い値となっており、仕事と子育ての両立には、制度の充実より職場内の理解や会社風土の醸成を求めていることがうかがえます。

Q. 行政で強化してほしい子育て施策(2選択)



「子ども手当の充実・強化」が最も高く、子どもに関する教育費の負担など、金銭的な支援や、保育環境の整備と充実を求めていることがうかがえます。